

改正日本道中行程記



詩聖堂書画会図(「塵積成山」より)



芝居画入一会狂歌合引札(個人蔵)



江戸名所花暦(個人蔵)

一関と江戸①

江戸で

遊

江戸で
家
ぶ



改正増補江戸大節用海内蔵



伊勢参宮日記(個人蔵)



御道中披露書上



道路行程記

令和2年

9/18 [金]
~ 12/6 [日]

無料入館日

テーマ展初日の9月18日(金)、開館記念日の10月10日(土)、
東北文化の日の10月31日(土)~11月1日(日)、文化の日の11月3日(火・祝)

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

一関と
江戸
①

江戸で

遊び

江戸で
学ぶ



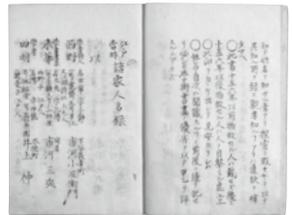
改正新刷今戸箕輪浅草絵図



宿札「田村右京大夫宿」



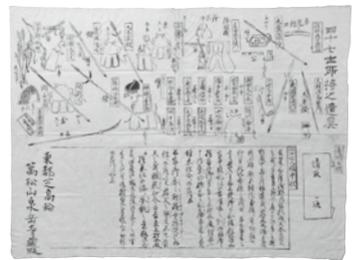
大相撲力士鏡



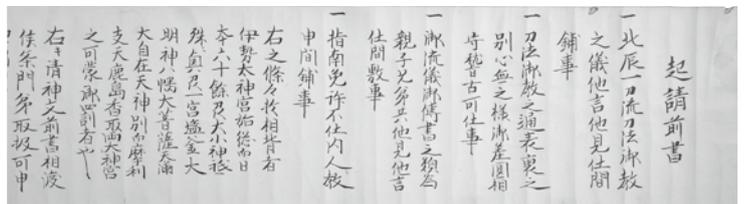
江戸当時諸家人名録



烟銀鶏宅(青柳文蔵旧宅)案内



四十七士所持之道具写



北辰一刀流入門起請前書

江戸とのさまざまな往来や交流の中で形成されてきた江戸時代の一関の学問や文化。

藩士は江戸詣の機会をとらえて人脈を広め知識や技芸を身につけた。

住んでいる土地を離れて学ぶことをさす「遊学」という言葉があるが、建部清庵、大槻玄沢、千葉胤秀など、江戸遊学がその後の飛躍に繋がった人々は少なくない。

また、庶民は伊勢参宮の途中、江戸見物を楽しんだ。

人々の活動が制限されている今ですが、江戸時代の文化交流や、好奇心にあふれた人々の姿にふれてみませんか。

関連行事 いずれも定員50名、参加無料、電話で申し込んでください。(申込先 一関市博物館 TEL0191-29-3180)

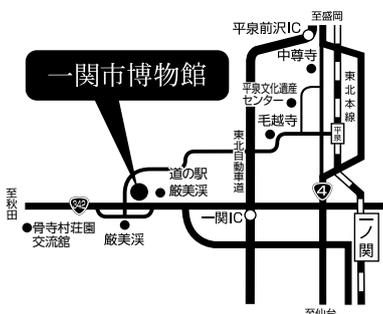
講演会

「大名が江戸に旅立つ理由―参勤交代と北奥羽の大名―」
10月25日(日) 13:30~15:00
講師 千葉一大氏(青山学院大学講師)

一関江戸学講座

- ①「庶民の江戸道中」 講師 当館学芸員
9月27日(日) 13:30~14:30
- ②「江戸の学校一塾・道場・学問所―」 講師 当館学芸員
11月22日(日) 13:30~14:30

新型コロナウイルス感染症への対応等により、変更となる可能性があります。
最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認いただきますようお願いいたします。



一関市博物館
ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字冲野々215番地1
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) **休館日** 毎週月曜日 但し9月21日(月)、22(火)は開館し、23日(水)が休館、11月23日(月)に開館し、24日(火)が休館

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金
次の方々の入館料は免除となります

①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。) ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

共通入場券 1年間有効1,000円/10日間有効500円
※有効期限内に限り、何度でも対象施設に入館可能(一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大龍キリシタン殉教公園)

交通案内
[自動車]一関ICより西へ約7分(5km)、一関駅より西へ約17分(9km) [路線バス]一関駅前9番乗り場巖美深方面行約20分(巖美深バス停下車徒歩7分)